



夢風

YUMEKAZE

第101号(平成29年度 No.8)



みなさん、夢風ようこそ。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。それぞれが次のステージで活躍されることを期待しています。今号は、豊田東高校の学びの集大成である総合発表会を中心にお伝えします。

☞「夢風」はWeb ページでも発信しています。 <http://www.toyotahigashi-h.aichi-c.ed.jp>



ニュース

News



●総合発表会

2月14日(水)総合発表会が、本校体育館にて実施されました。4人の3年生が司会を務め、幕間を活用しながらなごやかに進められました。発表会は保育プランの演劇で幕をあげ、「～みんなちがってみんないい～」という個性の大切さを演劇を通して伝え、会場内の人々に感動を呼び起こしました。1年生は「産業社会と人間の取組とライフプラン」を発表し、夢の実現に向けての個性あふれる内容が印象的でした。2年生は台湾修学旅行の学びである異文化交流の大切さについて、事前事後に調査したアンケートに基づいて発表をしました。3年生は将来の進路に関する課題研究と模擬面接を取り上げ、後輩のモデルとなる立派な発表を行いました。昼の休憩時には、調理・栄養プラン考案の里芋コロッケをおいしく味わってもらい、メディアホールにおいては美術プラン3年生の解説付きで卒業制作を鑑賞していただきました。



午後から

は、福祉、
ビジネス、

調理・栄養、看護、外国語プランが、プランならではの日頃の学習成果を、演劇や実演を通して発表しました。また、ユネスコスクールとしてのESD活動報告を地域連携教育・環境教育・国際理

解教育の項目ごとに発表しました。音楽プランの演奏と歌声は聴く人に感動を与え、服飾プランによるファッションショーで華やかに幕を閉じました。今年度は、プランの3年生全員参加の舞台発表が多く、どのプランも学習の様子を理解してもらうための工夫に富んだ内容でした。

生徒が自ら企画、演出した発表が多く、総合学科の多様で独自性のある教育活動と学習内容を全校生徒で共有することができました。





●調理（3年）

調理・栄養プランの3年生が、2年間の学びの集大成として、1月31日（水）と2月7日（水）の2週連続で「フルコース実習」と「お弁当実習」を行いました。フルコース実習では



食べてくれる先生方のことを考えて、料理はもちろん、お皿を温めることやサービス時の料理説明など最高のおもてなしをしていました。お弁当実習では調理法、味付け、食材等のバリエーションがきちんと考えられていて、「高校生がここまで出来るとは」と、食べる人をうならせる出来でした。お弁当には、今年度産学連携で開発した「里芋コロック里ちゃん」もミニサイズで入っていて、注文した先生方を大いに喜ばせました。限られた時間の中で、限られた道具や設備を工夫しながら80食のお弁当を手際よく作る様子は、まさに3年間の学びの集大成でした。



●澤田 幸子（2回生・保育プラン、岡崎女子短期大学卒、豊田市立こども園勤務、高岡中出身）

保育士として働き始めて5年目になります。職場の先生方にも恵まれ、大変ですが楽しく毎日過ごしています。

昨年度、年長の担任として、保育士になった年に担当した子どもたちを送り出しました。初めて会った時はオムツも外れていなかった子どもたちが、話し合いをして自分たちで遊ぶようになり、成長を感じました。自分にできることが限られていると悩んだこともありますが、卒園の日に「先生でよかった」と言ってくれたことができました。子どもたちを相手にしていると、思う通りにならないことはあるものの、成長を肌で感じて保護者と共有することで、小さな苦労は喜びで上書きされていきます。

短大卒業時に「3年は働きなさい」と言われた意味を今とても実感しています。最初のうちは毎日がむしゃらでしたが、1年の流れがわかると見通しがもて、保育の大変さ以上に楽しさを感じられるようになってきました。5、6年目はリーダーとしての役割が求められる時期になるので、やりがいと同時に、責任の重さや怖さも感じています。

私はピアノを習ったことがなかったので、東高校在学中は「ピアノ演奏」の授業を受けられる保育プランを選択しました。保育士の採用試験では、ピアノ演奏の他にその場で紙芝居の制作および読み聞かせをする課題が出たので、高校時代から実技の経験を重ねられたことは本当によかったです。何より同じ目標をもつ仲間と過ごした時間は大切に、集まった時には「はらぺこあおむし」の巨大絵本を作った総合発表会について話したり、近況を報告したりするなど今でもお互いに刺激合っています。

